

平成30年3月期第3四半期 決算補足資料

平成30年2月8日



(東証二部 9857)

連結決算概要	．．．	P. 3
品目別売上高	．．．	P. 4
業界別売上高	．．．	P. 5
連結貸借対照表	．．．	P. 6
連結業績推移	．．．	P. 7

(単位:百万円)	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	増減額	前年 同四半期比	平成30年3月期 業績見通し
売上高	22,634	23,135	+ 500	+ 2.2%	34,200
営業利益	549	523	△ 25	△ 4.7%	980
経常利益	596	611	+ 14	+ 2.4%	1,020
親会社株主に帰属する 四半期純利益	380	356	△ 23	△ 6.3%	663

決算の概況

- 受注については社会インフラ市場で使用される産業車両や、製造業での老朽化した生産設備の更新需要と生産性向上に向けた設備投資需要の取り込みにより、引き続き堅調に推移しました。販売においては化学品製造業や電力・ガス供給業向けで販売が減少したものの、官公庁、鉄鋼製品製造業、プラント・エンジニアリング向けの販売が伸長しました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

品目別売上高

(単位:百万円)	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測 制御機器	11,095	11,276	+ 1.6%	48.7%
環境計測・ 分析機器	1,767	1,831	+ 3.6%	7.9%
測定・検査機器	1,446	1,339	△ 7.4%	5.8%
産業機械	8,325	8,687	+ 4.4%	37.6%
合計	22,634	23,135	+ 2.2%	100.0%

増減要因

◆ 工業用計測制御機器

化学品製造業や船用機器製造業で販売が減少しましたが、生産設備の遠隔監視や老朽化更新に伴う情報通信機器や各種センサーの需要が増加し、鉄鋼製品製造業や機械製造業で販売が伸長しました。

◆ 環境計測・分析機器

化学品製造業で販売が減少しましたが、水質・ガス・大気分析計等の更新需要が堅調で、鉄鋼製品製造業や電気機器・精密機器製造業で販売が増加しました。

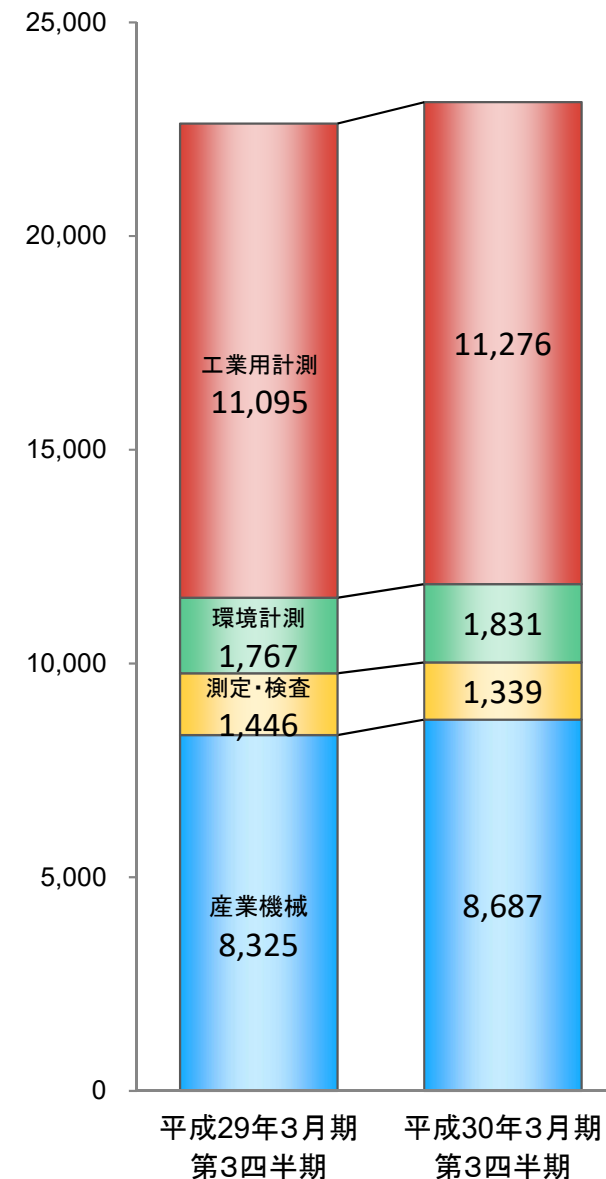
◆ 測定・検査機器

化学品製造業向けに生産設備用検査機器の販売が増加しましたが、機械製造業や電気機器・精密機器製造業で前年同四半期に大口案件の販売があった反動で、全体では減少しました。

◆ 産業機械

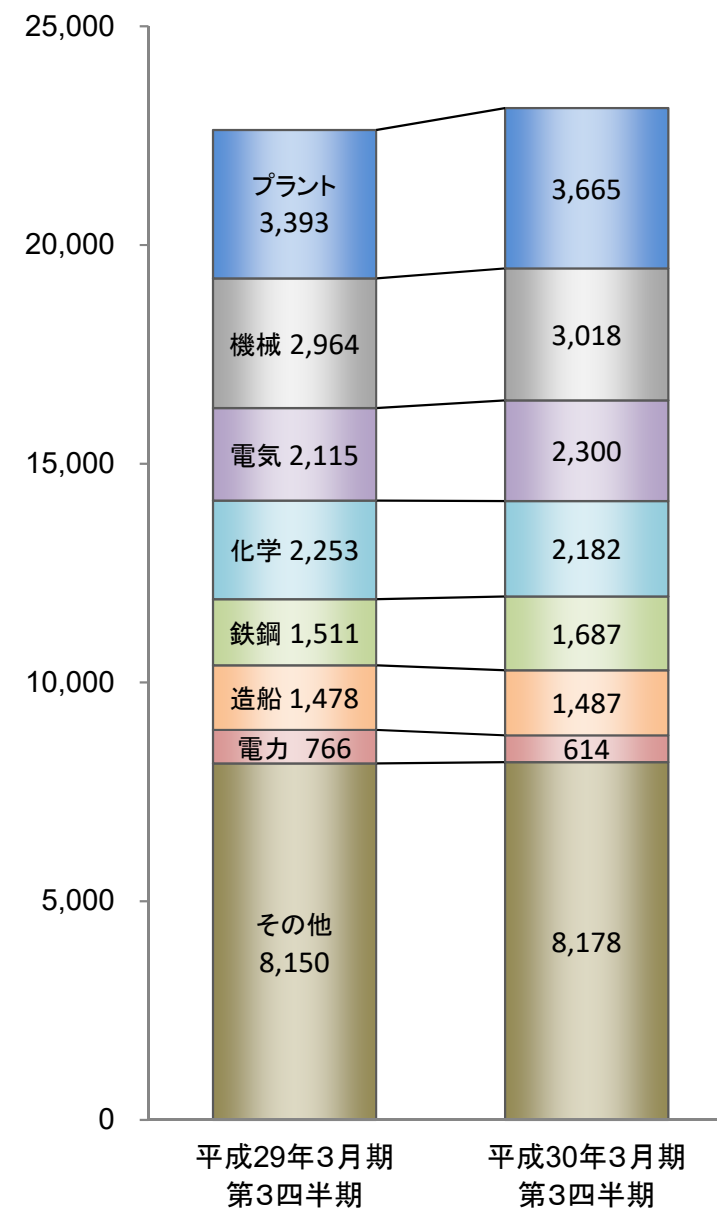
機械製造業向け高効率ポンプの販売や船用機器製造業向け排ガス規制に伴うバルブの販売が好調に推移しました。産業車両に関しては、官公庁、運輸業向け特殊車両の販売が増加しました。

(単位:百万円)



(単位: 百万円)

(単位: 百万円)	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
プラント	3,393	3,665	+ 8.0%	15.8%
機械	2,964	3,018	+ 1.8%	13.1%
電気	2,115	2,300	+ 8.8%	9.9%
化学	2,253	2,182	△ 3.2%	9.4%
鉄鋼・ 非鉄金属	1,511	1,687	+ 11.6%	7.3%
造船	1,478	1,487	+ 0.6%	6.4%
電力	766	614	△ 19.8%	2.7%
その他	8,150	8,178	+ 0.3%	35.4%
合計	22,634	23,135	+ 2.2%	100.0%



連結貸借対照表

■自己資本比率：3.4ポイント増加し42.4%となりました。
(H29/03時点39.0%)

資産

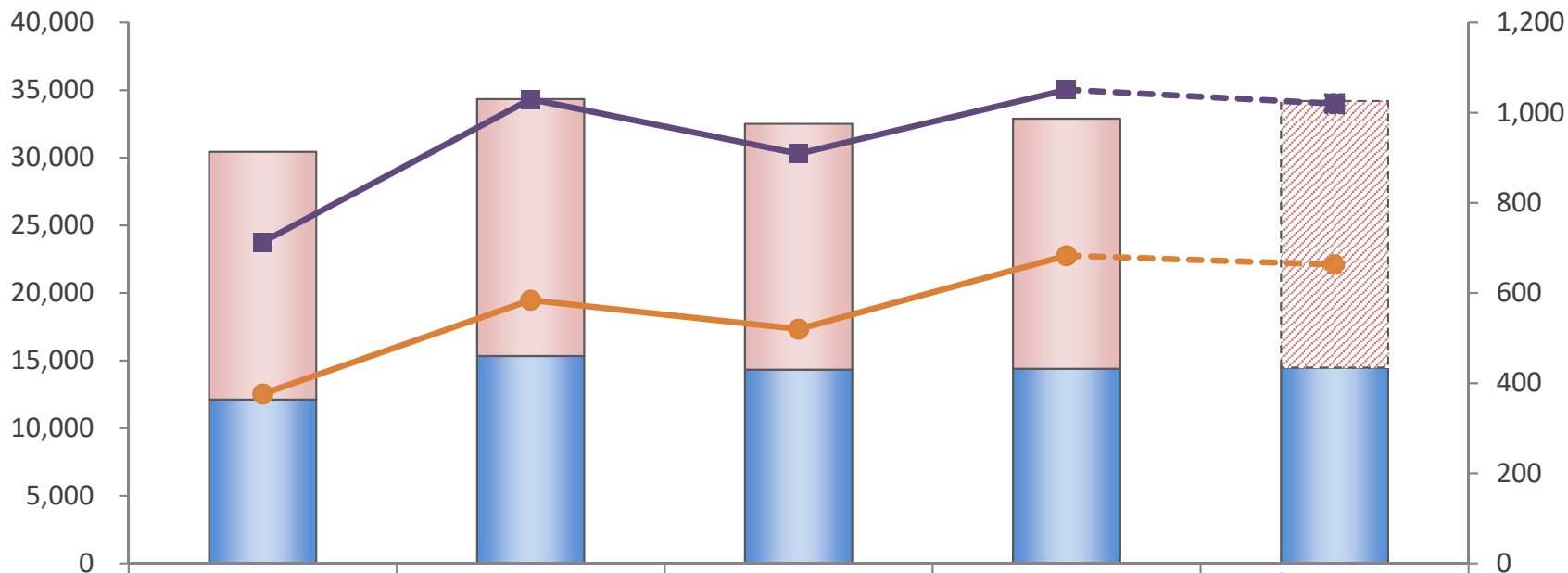
	H29/03	H29/12	増減額
流動資産	18,874	17,592	△ 1,281
現金及び預金	3,653	3,188	△ 464
受取手形及び売掛金	12,880	11,319	△ 1,561
電子記録債権	1,512	1,798	285
たな卸資産	510	1,049	539
その他	317	237	△ 79
固定資産	3,381	3,442	60
有形固定資産	1,455	1,430	△ 25
無形固定資産	88	58	△ 30
投資その他の資産合計	1,837	1,953	116
その他	1,887	2,001	113
貸倒引当金	△50	△ 47	2
資産合計	22,255	21,035	△ 1,220

負債及び純資産

(単位：百万円)

	H29/03	H29/12	増減額
流動負債	12,230	11,148	△ 1,081
支払手形及び買掛金	5,744	5,069	△ 675
電子記録債務	5,148	4,982	△ 165
1年内返済予定の長期借入金	260	540	280
引当金	431	172	△ 259
その他	645	383	△ 261
固定負債	1,344	966	△ 378
長期借入金	770	370	△ 400
引当金	196	24	△ 171
退職給付に係る負債	354	380	26
その他	23	191	167
負債合計	13,574	12,115	△ 1,459
純資産	8,680	8,919	238
株主資本	8,501	8,681	179
その他の包括利益累計額	179	238	59
その他有価証券評価差額金	114	185	70
為替換算調整勘定	11	10	△ 1
その他	52	42	△ 9
負債純資産合計	22,255	21,035	△ 1,220

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期 (見通し)
■ 3~4Q売上高(左軸)	18,321	19,001	18,178	18,490	19,721
■ 1~2Q売上高(左軸)	12,124	15,336	14,332	14,396	14,479
売上高	30,446	34,338	32,510	32,886	34,200
■ 経常利益(右軸)	713	1,030	909	1,051	1,020
● 親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	376	584	520	683	663

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期 (目標)
ROE (株主資本利益率)	5.4%	7.8%	6.6%	8.2%	8.0%

※平成26年3月期第3四半期より、東武機器(株)を連結子会社としております。

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <http://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。